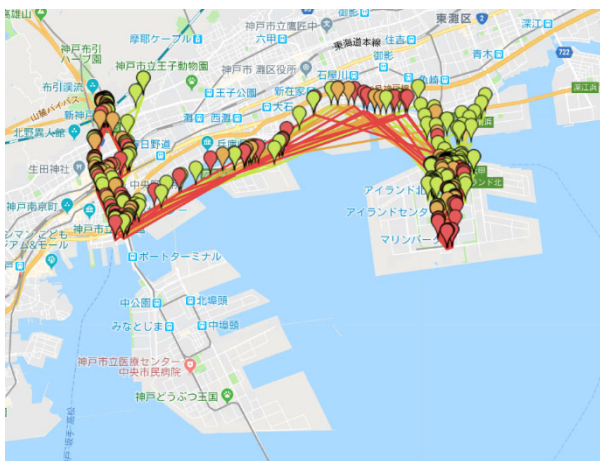


ものづくり IoT セミナー2018 ひょうご・神戸 特別セッションを開催しました

「神戸でスタートするソニーのLPWA（IoT向け通信）実証実験」をテーマとして、国際フロンティア産業メッセ2018の併催行事として平成30年9月6日に開催しました。神戸国際展示場3A会議室で86名の方に参加いただきました。

また、国際フロンティア産業メッセ2018の期間中、ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社のご協力を得て、神戸市役所にアンテナを設置し、神戸市の中心部周辺でのLPWA（Low Power Wide Area、IoT向けの通信技術）通信を可能にして、発信機を取り付けた路線バスの位置情報をリアルタイムモニタリングするデモンストレーションを行いました。

LPWAでモニタリングした路線バス軌跡



セミナーの様子



セミナーのプログラムは以下の3件です。

ソニーのLPWA通信技術の特徴

講師：ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 井田 亮太 氏

神戸から始まる陸海シームレスな物流IoT

講師：古野電気株式会社 渡辺 将平氏

スポーツへのIoT適用と神戸で始まるLPWA実証実験への期待

講師：株式会社アシックス 坂本 賢志 氏

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社の井田様からは、圧倒的な長距離通信を実現するIoT向け通信技術であるソニーのLPWA通信の技術と特徴の紹介と共に、全国各地で行われている実証実験の結果をご紹介いただきました。

古野電気株式会社の渡辺様は、海上や陸上におけるSONY'S LPWAのテスト結果を紹介されました。長距離通信が可能なソニーのLPWA通信技術を使うと、IoTのデータ収集領域を基地局の建設が出来ない海上にも大きく広げられることをデータで示していただきました。

株式会社アシックスの坂本様からは、IoTの適用で競技中の選手のデータや高齢者の運動量の計測が可能になっている現状を紹介いただいた上で、データ収集のリアルタイム化や保持する機器の軽量化がLPWA通信の利用で図れるとの期待を説明いただきました。

国際フロンティア産業メッセ2018の会場のIoT普及促進ブース「IoTプレイスひょうご・神戸」のIoT体験コーナーでは、展示会期間中に実施した通信実験（路線バスの位置情報をLPWAと携帯回線の2種類の方法で採取）のデータをリアルタイムでディスプレイに表示しました。



協力：みなと観光バス(株)

ソニーセミコンダクタソリューションズ(株)

以上